

月 -

## 復命書

2009年 11 月 10 日

新政会 代表  
望月 厚司 様

議員名 佐藤成子

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	2009年11月6日(金)から11月9日(月)	
2 視 察 先	(1) 都 市 名 視 察 先 施 設 等	第4回マニフェスト大賞受賞式参加 マニフェスト大賞・上海都市づくり視察
	(2) 対 応 者	王祝氏・日中発展協会副会長、上海大学客員教授 上海環球金融中心有限公使社員 上海世界博覧会事務協調局
3 目 的	マニフェスト大賞はこれまで注目を集めることの少なかった地方自治体の首長・議員の活動実績を募集。表彰し、受賞者氏名を公表することで、地方政治で地道な活動を積む人々に名誉を与え、更なる政策提言意欲の向上につながることを期待したもので、2006年の第1回大会から、今年で第4回大会の開催になる。受賞者の知事や市町村長、地方議会は全国の先進事例として、マニフェスト大賞共催である毎日新聞社のほか、多くの報道機関を通じて発表される。今回の受賞者と意見交換と情報交換をする。マニフェスト大賞授賞式は、メインスポンサーである森ビル(株)が運営する六本木アカデミーヒルズで開催されるが、森ビルは、世界と都市の未来に照準を合わせた都市づくりを展開しており、アジアを代表する国際金融都市となった中国・上海に、森ビルグループの都市づくりのノウハウを注ぎ込んだ「垂直の複合都市」上海環球金融中心(SWFC)を2008年にオープンさせた。2010年5月開催が迫った過去最大級の上海万博を前に、発展目覚しい上海の都市づくりを視察し、地方議員の「世界的視野」を養成することを目的とする。	

(調査事項・調査結果を具体的に)

この第4回マニフェスト大賞に、小嶋市長の『マニフェスト2007』を、マニフェスト大賞実行委員として応募を要請。大賞首長部門で、ノミネートされていたので、市長も参加されました。残念ながら大賞は逃しましたが、全国から集まった地方議員と意見交換されとても有意義であったと思います。今回は全国から1000件を超える応募数からノミネートされただけでも意義があったと思います。六本木ヒルズ49階ホールはかなりの熱気でした。

翌日、マニフェスト大賞を終えた、マニフェスト推進地方議員連盟議員・マニフェスト大賞実行委員のメンバーで、北川正恭早稲田大学院教授を視察団長として総勢15人で『マニフェスト・上海都市づくり視察』にでかけました。

#### 上海市人民政府外事友好協会・ケイカキ常務理事・講話

友好協会として何度か日本にいらしているそうです。長崎のハウステンボスに出かけたそうですが、あれだけの施設にびっくりしたけど、観光客の少ないのも驚いたと流暢な日本語で話されたのが印象的でした。又富士山はいい、素晴らしいとのことでした。日本の良さをしっかりと捉え、自分たちに出来ることを探っている様子が伺えます。ハングリー精神があるお話でした。これからアジアのリーダーとして日本とともに進みたいとのこと。うかうかしていると私たち跳びこされてしまうかも。

王祝氏 日中発展協会副会長・上海大学、慶応大学客員教授も同席されました。後日の案内の通訳をお願いしていました。

#### 豫園地区・魯迅館、記念公園視察

高氏 日中発展協会メンバーの通訳兼案内で古き良き時代の建物が保存・移転されている集合地区の様子を視察。若き芸術家の作品を展示販売する地区にも足を伸ばしました。観光客の集客の一助は、歴史的な建物、記念館であるのは間違いありません。公園内が野外カラオケ屋？(有料)になっていたのは、異様な風景でした。庶民の娯楽にも見えましたか？

街の其処かしいこに、万博の垂れ幕や横断幕、そして、飾り付けをした大型車輛が走っていて、国を挙げての一大プロジェクトが組みまれていると感じました。

### 上海環球金融中心有限公司社員の案内で、上海ワールド ファイナンシャル センター（上海タワー）を訪問

まず、隣のビルで、建設までの経緯の説明を受けました。ビルの構造や工法など、最新の技術発展にその凄さを感じました。広い広いスペースに、眼下に広がる街並みをパノラマで再現していました。その精巧さに圧巻されましたし、ミニチュアビルを見ながら、その建設行程を説明されるのでとてもよく理解できました。上海のエネルギッシュな街を再開発しているその勢いとスピードにびっくり。広大なスラム街？がこの世界の最先端の街に姿を変えたのです。さすが、国家プロジェクト・中国です。森ビルのここを開発した思いなど現地社員の話も印象的でした。上海の開発の牽引役でもあるのだと感じ、日本の経済力もすごい。このビルに入居すること、使うことがステータスになるような場にしたいとのことでした。

移動し、実際に100階のビルの展望台へ。ガラス張りの作り方。360度見える景観は言葉を失いました。建物の構造を伺ってはいても、風で揺れているような感覚はぶきみでした。森ビルスピリットのすごさを再認識しました。ちなみに、宿泊した所は、83階でしたが、朝、窓の外を覗いたら、雲が下に見えました。初体験でした。

### 上海世界万博会場訪問・事務局ボクキンヤ氏

来年5月から10月まで開催される世界万博。その会場が建設されている真っ最中。事務局の方の案内で現地に伺いました。開催までの経緯、準備状況、まちづくり、市民への影響など伺いました。開催後の利用などもヒヤリングを受けました。建設ラッシュで、街中が埃だらけの感じでした。まだまだ半分もできていない様子。間に合うのでしょうか？中国国内からの来場者が1番多く予想されるそうですが開催期間中7000万人が訪れるとの予想。ごった返す様子が心配です。まだアクセスなどができていないとのこと。何事も、日本が真似できないスピーデがあります。期待しましょう。本当に建設されたか、再訪し確認したいぐらいです。

北京オリンピックの後の万博、かつての日本の繁栄期を追いかけられているようにも思えます。

5

成果・市政  
への反映等

観光というキーワードに合わせた施策の必要性を痛感しました。そのため、インフラ整備、街の開発の必要性。人を呼べる魅力あるまちづくりとは何か再考が必要だ。ランドマークは何か。国際都市の仲間入りをするには、富士山、歴史など素材を活かす知恵が必要だと痛感した。まだまだ宣伝が足りない。『静岡の宝』を、しっかりと伝えていきたい！特に、中国に情報発信をすべきだ。静岡～上海便の利活用、市独自のものを考えたい。